

今月の安全運転管理

今年も誓おう 一年の安全運転

①交通安全宣言を行おう

- 一年間の安全運転目標を宣言しよう
- 交通安全スリーS(スリーエス)運動に取り組もう

②冬場の体調管理の徹底

- 運転者の体調をチェックしよう



一年間の安全運転目標を宣言しよう

明けておめでとうございませう。清々しく迎えた新年にあたり、一年の無事故無違反を誓うため、従業員に安全運転目標を宣言してもらうのはいかがでしょうか。

宣言する目標は「安全運転する」といった漠然としたものではなく、「黄信号では必ず停止する」「ダイヤマークを見つけたら、速度を落とす」など、具体的なものにしましょう。また、従業員から寄せられた宣言は、社内の掲示板や食堂、社有車の車内などの目に入る場所に掲示しておくことで、従業員の意識も高まります。

交通安全スリーS運動に取り組もう

愛知県では「交通安全スリーS(スリーエス)運動」が提唱されています。この運動は、自動車や自転車の運転者が、

- ストップ(Stop)
- ・赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
- ・横断歩道や交差点では歩行者優先
- ・飲酒運転の根絶
- スロー(Slow)
- ・子供や高齢者を見かけたらスローな運転
- ・見通しが悪い交差点では徐行
- スマート(Smart)
- ・全ての人に対して思いやりを持つ

た運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転

- ・シートベルトの全席着用を徹底
- ・急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど、環境に配慮したスマートな運転を実践することで交通事故を防止するものです。

スリーSには交通事故を防ぐグッズが詰まっています。事業所を挙げてスリーS運動の推進を図りましょう。

運転者の体調をしっかりとチェックしよう

冬場は風邪、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症が流行する季節です。体調がよくない状態で運転すると、事故の危険が高くなるのはいつまでもありません。

そこで、点呼や朝礼の際には運転者の顔色や声などをしっかりとチェックして、体調に問題がないか確認しましょう。万一、体調に問題のある運転者が見つかった場合は、交替運転者を手配してください。

また、運転者が体調不良を隠して運転して事故を起こすケースもあります。運転者が体調不良を申し出しやすい職場環境を構築しましょう。

このほか、こまめな手洗いうがい、咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底を呼びかけましょう。